

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		DWI HARYANTI	所 属		戦略的研究プロジェクトセンター	職 名		
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.30	Providing assistance for two graduate students in research and scientific writing (paper writing), as well as weekly seminar.		0.40	I provided assistance for two graduate students in research and scientific writing and seminars.			
研究	0.50	I'm planning to do research and write 2 papers. First about the coral larvae and primary polyps response to ocean acidification, and second about the behavioral role of green fluorescent protein (GFP) in coral's early development.		0.50	I did experiments on coral larvae and primary polyps response to ocean acidification and currently writing one paper. I did preliminary experiments on GFP role but still not successful.			
社会 貢献	0.10	I'm planning to collaborate with other assistant professors in Center for Strategic Research Program in making an illustrated booklet or leaflet about our research, which is 'tourist-friendly' and easy to understand for common people.		0.00	I did not do this because I was not sure if booklet or leaflet would be useful.			
管理 運営	0.10	To cooperate in the management of Sesoko Station		0.10	I cooperated in the management of Sesoko Station.			
	0.00			0.00				
計	1.00			1.00				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		楠本間太郎	所 属	戦略的研究プロジェクトセンター	職 名	特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.00			0.00		
研究	0.90	<p>沖縄島の森林群集集合に関する研究、日本列島の自然保護区のパフォーマンス評価に関する研究、日本産サンゴ群集の保全優先地域選定に関する研究成果それぞれを国際誌に投稿する。2017年1月の国際生物地理学会(USA)において、研究成果を発表する。2017年3月の日本生態学会(東京)においてシンポジウムを開催し、研究成果を発表する。理学部、農学部の研究者と共同し、H28年度の琉球大学戦略的研究推進経費(萌芽)に申請する。</p>		0.85	<p>平成28年度の研究目標は概ね予定通り達成できた。沖縄の森林群集集合に関する研究、日本列島の自然保護区のパフォーマンス評価に関する研究をそれぞれEcological Research誌に投稿し、受理された。保護区のパフォーマンス評価については、群集集合プロセス指標を取り込んだ発展バージョンを、国際生物地理学会および日本生態学会の国際シンポジウムで発表した。加えて、保護区配置のための優先地域分析に関するシンポジウム(沖縄)を開催した。沖縄における保全優先地域特定に関する共同研究プロジェクトで、琉球大学戦略的研究推進経費(萌芽)を獲得した。日本産サンゴ群集の研究については、論文投稿には至らなかったが、共同研究者と連絡をとりつつ、解析を進めている。</p>	
社会貢献	0.10	<p>日本生態学会の発行する国際誌の編集業務及び関連ウェブページの管理を行う。地域の高等学校教員と協力し、高校生向けの生物多様性保全研究紹介セミナーを行う。</p>		0.15	<p>日本生態学会の編集業務(コピーエディット)およびウェブページの管理を行った。協力予定であった高等学校教員が教育委員会へ異動になったため、学生向けのセミナーは行うことができなかった。その代わりに、電話でのデータ解析相談を受けた。</p>	
管理運営	0.00	<p>※入試問題等、匿名を有する委員会の活動については、委員会名は記載せず、単に「委員会委員」とし、具体的な内容は記載しないでください</p>		0.00		
	0.00			0.00		
計	1.00	<p>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>		1.00	<p>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>	
<p>※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。</p>				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		